

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

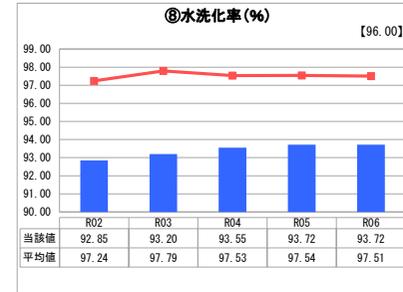
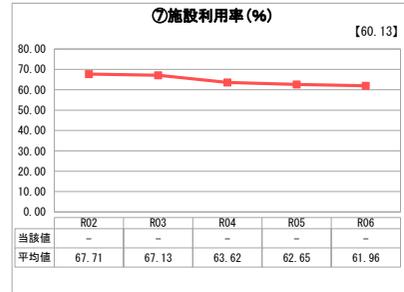
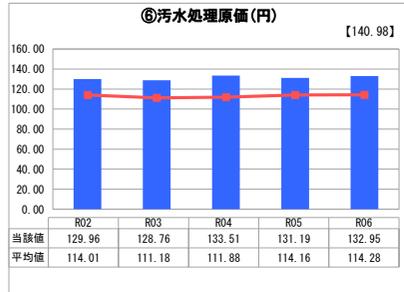
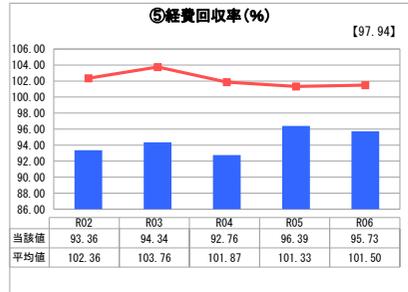
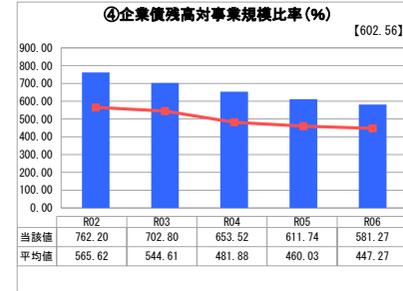
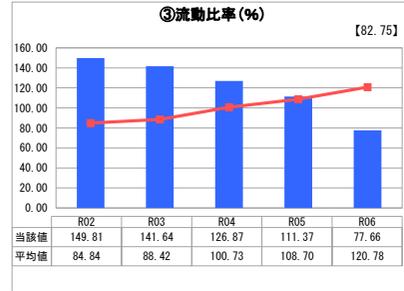
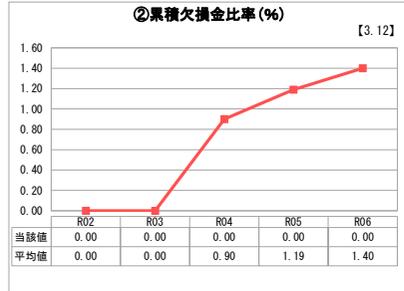
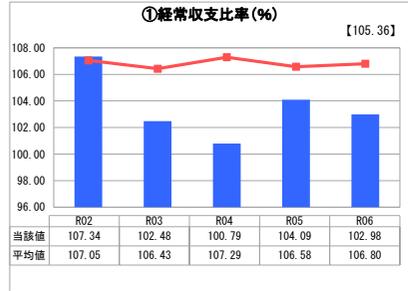
千葉県 流山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	自治体職員
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	72.32	94.34	79.69	2,200

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
212,562	35.32	6,018.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
201,052	19.55	10,283.99

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

流域下水道維持管理費の増額等に伴い経常費用が増額したことにより、①経常収支比率は前年度から減少したものの、100%を超える値で推移している。また、累積欠損金は②累積欠損金比率0%であることから、健全経営を維持できている。

管渠施設に係る工事の実施や企業債の償還等による支出の増加により、③流動比率は、前年度から大幅に減少した。短期的支払能力を改善し、安定的な経営ができるよう、十分な資金を確保する必要がある。

企業債を活用し管渠施設の新規整備を行ってきたため、④企業債残高対事業規模比率は高い水準にあるが、着実に企業債残高は減少している。

建設拡張の途上であるため、⑤経費回収率は類似団体平均よりも低い水準にある。今後も適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減を図る必要がある。

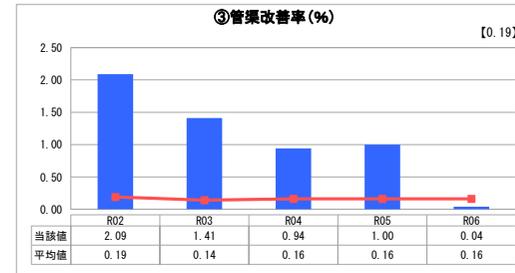
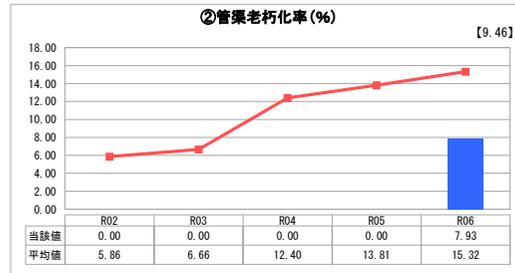
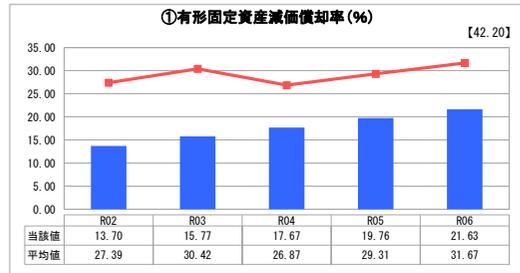
前述した流域下水道維持管理費の増加等に伴う汚水処理費の増加により、⑥汚水処理原価は前年度に比して増加した。

⑧水洗化率は類似団体を下回る水準となっており、未接続者への対策が課題となっている。

### 2. 老朽化の状況について

前述のとおり、未普及地域の管渠整備を現在も行っているため、老朽化の状況については類似団体よりも低い水準で推移しているものの、②管渠老朽化率は、前年度から上昇しているため、計画的に管渠整備を行っていく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

建設拡張の段階にあるため、「経常収支比率」や「企業債残高対事業規模比率」の健全性に関する数値については低い水準で推移しているが、これは管渠施設等の新規整備が一段落となる令和7年度末を境に改善していくものと思料される。

しかしながら、短期的支払能力を表す「流動比率」については100%を下回っていることから、事業の効率化を図るとともに使用料の改定等を検討の上、健全な経営を目指す必要がある。

なお、他団体に比べ新しい整備を有しており、老朽化の状況については良好であるといえる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。